

資料 1

協議テーマ 公共施設の有効活用について

協議概要

- ・今年度を以て施設廃止が予定されている適沢コミセンの取り扱いについて

これまでの協議経過

第 6 回 [H19.11.21]

有効活用の方策がないかを協議。

1～2 回の協議で結論に至るのは困難と判断し、次回以降も継続協議することとした。

各委員は各団体等に持ち帰り検討することとした。

遅くとも年明け早々の結論をめざすこととした。

方向性としては、何とか施設を閉鎖せず、維持存続出来る方策を検討すべきとした。

第 7 回 [H19.12.19] <継続>

前回（第 6 回）からの継続協議。

前回までの経過から、維持存続に向け、現施設に殆ど手を加えることなく（予算を掛けないで）利用すること、施設を維持するため、ある程度の収入を見込めるものを前提に活用方策を検討。

風光明媚な利点を活かし、総合的な観光案内施設、地場産品等の直売所として活用することが望ましいとした。

誰でもが特産品等を持ち込める環境と全産業団体等をまとめられる観光協会がその中心となって運営するのが望ましいとした。

方向性は固まったが、次回以降さらに具体的に、実現に向け取り組むべき事を協議することとした。

- ・地域協議会としてどのような動きをしていくべきか？
- ・運営団体等への働きかけはどうすべきか？
- ・各産業団体との調整をどう図るか？ など

第 8 回 [H20.1.23] <継続>

[地域協議会としてどのような動きをしていくべきか？]

- ・
- ・

[運営団体等への働きかけをどうすべきか？]

- ・
- ・

[各産業団体との調整をどう図るか？]

- ・
- ・

[その他]

- ・
- ・